



Company Profile

会 社 案 内



“KOBUNSHI”を追求し、社会の期待に応える 『おもしろい会社』を目指します



取締役社長・CEO

齋藤 克巳

経営理念

限らない創造 社会への奉仕



目次

中長期経営計画（2030事業計画）	3
事業領域	6
製品紹介	8
沿革	18
グローバルネットワーク	20
会社データ	23

当社は、1949年の設立以来70有余年にわたり、合成ゴム・樹脂の配合技術をベースに、開発から生産・販売にわたり総合力を発揮し、高機能・高品質な製品・サービスを提供しています。主要材料と「新しいものを生み出す」ことを理念として社名に「合成」を用いており、そのマインドは今日まで受け継がれてきました。

現在、自動車業界は大きな変革期を迎え、市場構造の急速な変化の中で勢力図の転換が進んでいます。加えて、人の価値観の変化、環境・社会課題の深刻化、地政学的リスクの高まりなどに伴い、先行き不透明で不確実な状況にあり、大変難しい経営の舵取りが求められます。

そのような中、自社の将来像を考えるにあたり、改めて社是に向き合い、自社の存在価値を問い直しました。その上で、事業の社会的価値と経済的価値を両立させるとともに、経営革新を図り持続的な成長・発展を実現させることをねらい、2030事業計画を策定しました。

その実現に向けて、これまで諸先輩方が築き上げてきた「高分子」を基盤にした有形・無形の資産を大切に守りながら、自らを大きく変え、チャレンジしていく所存です。

長きにわたり培われた資産は、技術やモノづくり、管理技術などにとどまらず、風土にまで根差しており、一人ひとりの考え方や行動（所作）として脈々と受け継がれています。

当社の社章である六角形のベンゼン環に象徴されるように、一つひとつの分子＝個人が集まり、個人や組織が有機的につながり、化学反応を発生させることにより創造性を高め、変化する環境に応じてその形を柔軟に変えて適応する。そして、あらゆるステークホルダーとつながり、発展的に広がっていくことで、「人」と「組織」が活性化した「高分子型組織」を築き、「豊田合成っておもしろい会社だね」「何かやってくれるよね」と世の中から期待され、持続的に成長していける会社を目指します。

私たち豊田合成グループは「**ONE TEAM, ONE TG.**」のスローガンを基に、世界15カ国/地域の58のグループ会社、従業員4万人が総力を結集し、これまでも、これからも、移動と暮らしをより良く豊かにする「安心・安全」「快適」「脱炭素」をカタチにして、世界中のお客様へお届けします。

中長期経営計画（2030事業計画）

当社はモビリティ社会の変化に対応した社会的価値の提供を通じて、将来にわたる持続的な事業成長を実現するための中長期経営計画として「2030事業計画」を策定しました。

目指す姿に「高分子の可能性を追求し、より良い移動と暮らしを未来につなぐ会社」を掲げ、セーフティシステムを軸とした「安心・安全」、内外装部品を土台とした「快適」、高分子材料の新規事業化による「脱炭素」という価値を社会にお届けしていきます。



〈目指す姿〉

高分子の可能性を追求し、
より良い移動と暮らしを未来につなぐ会社

〈提供価値〉



〈基本方針と重点施策〉

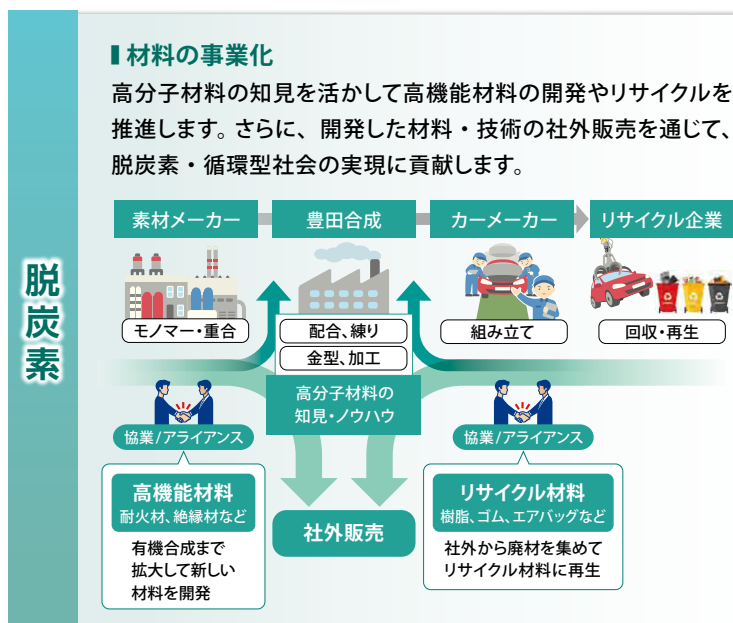
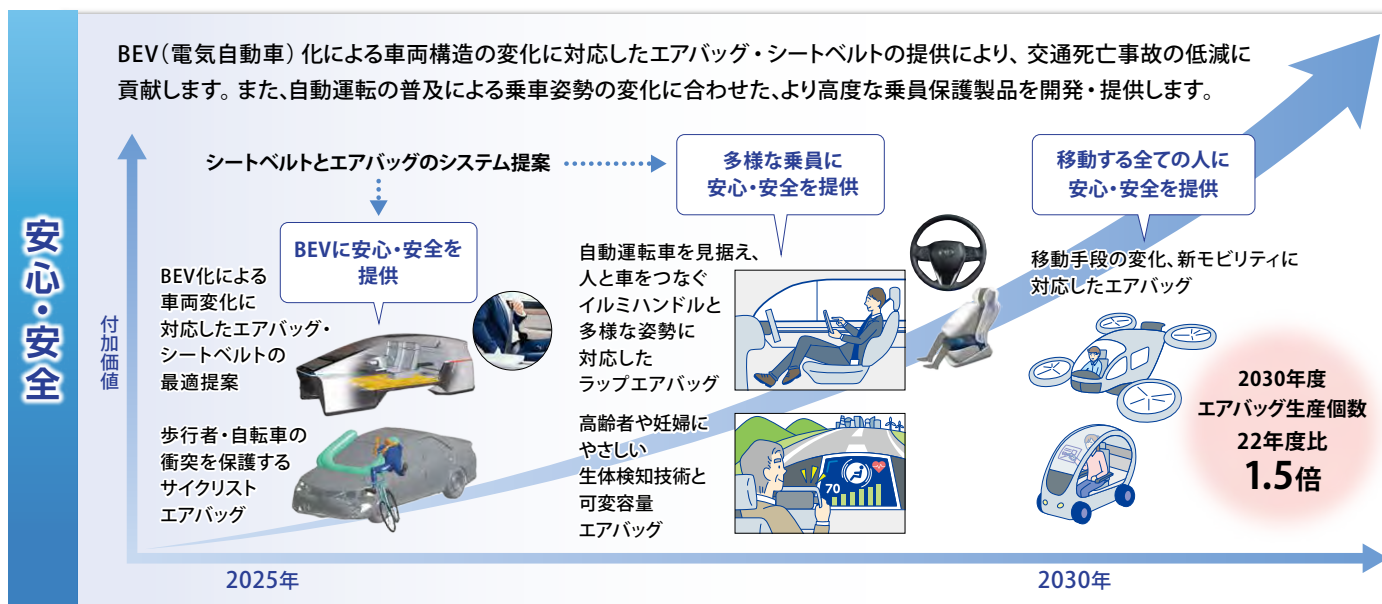
〔基本方針〕 社会的価値と経済的価値を両立させる分野に注力
(事業ポートフォリオの組み換え)

- 〔重点施策〕
- 重点事業・地域・顧客での成長に向けた構造改革
(セーフティシステム・内外装・材料事業、北米・インド・中国の現地カーメーカーへの拡販)
 - グローバル成長を加速する戦略的アライアンス、開発・知財の戦略的強化
 - 人と組織が有機的に結合した高分子型組織による経営革新

〈2030年度 経営目標〉

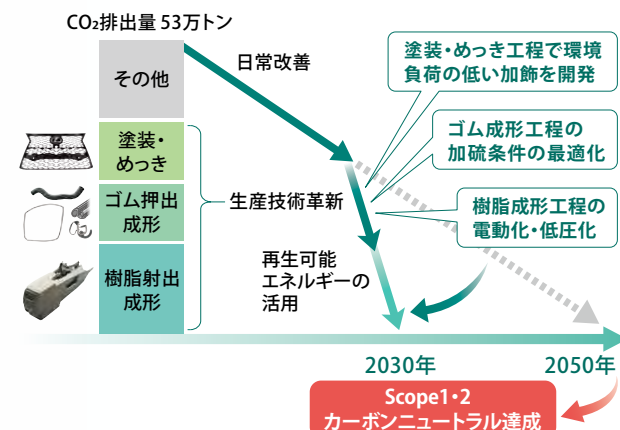
売上収益 1兆2,000億円	営業利益 1,000億円	営業利益率 8%	ROE 10%
-------------------	-----------------	-------------	------------

◆ 中長期経営計画（2030 事業計画）



■ カーボンニュートラル

日常改善とともに生産技術革新を推し進め、省エネを加速します。Scope1・2でのカーボンニュートラルを2030年に前倒し、CO₂フリーの高付加価値製品を提供していきます。



▶安心・安全への貢献

インドでの安全規制強化に伴うエアバッグの需要拡大に対応し、同国の北部や南部の生産体制の強化を進めています。また将来に向けては、欧州の安全アセスメント (Euro NCAP) に積極的に関与するなど、世界の交通事故死傷者ゼロに向けた取り組みを推進していきます。



▶快適への貢献

モビリティの変化に対応した、内装・外装製品の開発を進め、快適性向上に貢献していきます。内装デザインの多様化に寄与する車室内イルミ製品や、ミリ波レーダ透過機能と発光機能を併せ持つエンブレムを開発。車内の開放感や視認性の向上に対応した製品なども提供しています。



超薄型レジスタ



LED陰影イルミネーション



エンブレム(発光時)

▶脱炭素への貢献

循環型社会の実現に貢献するため、当社製品の主要材料であるプラスチック・ゴムのリサイクルを推進しています。また、次世代エネルギーとして普及が期待される水素を人々の生活圏内で幅広く活用できるポータブル水素カートリッジ用のタンクを実用化しました。



Grabボックス
(再生プラスチックを活用)



ポータブル
水素カートリッジ
(写真提供:トヨタ自動車)

貢献領域の拡大

自動車部品に限らず製品を幅広く展開し、より多くの人々に社会的価値を提供します。そのために、CVC活用と新価値創造の体制を強化し、新規事業の早期具現化を図ります。

コーポレート・
ベンチャー・
キャピタル(CVC)の活用

+

アイデア創出と
事業化見極めを
高速で繰り返す

ヘルスケア



スマート
インソール



血糖値
測定機器

エネルギー



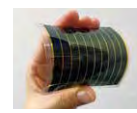
高圧水素タンク



GaN
パワー半導体



マイクロ波
給電



ペロブスカイト型
太陽電池

2025年

2030年

人と組織の 活性化

2030事業計画推進のため、会社をゲンキにする「人と組織の活性化」に取り組みます。また、環境変化に感度良く対応し、ダイナミズムに満ちた企業風土と人づくりを図ります。

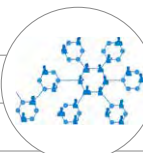
組織パワーアップ (ダイナミズムに満ちた高分子型組織へ)

- 一人ひとりの個性、ゲンキ、パワーを引き出し
有機的な結合により創造性とパワーを結集
- 社内外の組織のつながりを強化
- 自在に形を変え、環境変化へ柔軟に対応
- マネジメントを触媒とし、仕事のスピードアップ、成果を増大させる

一人ひとりの自己実現 (失敗を恐れずに変える・変わる)

従業員エンゲージメント向上 (居場所と舞台と光)

マネジメントスタイルの変革



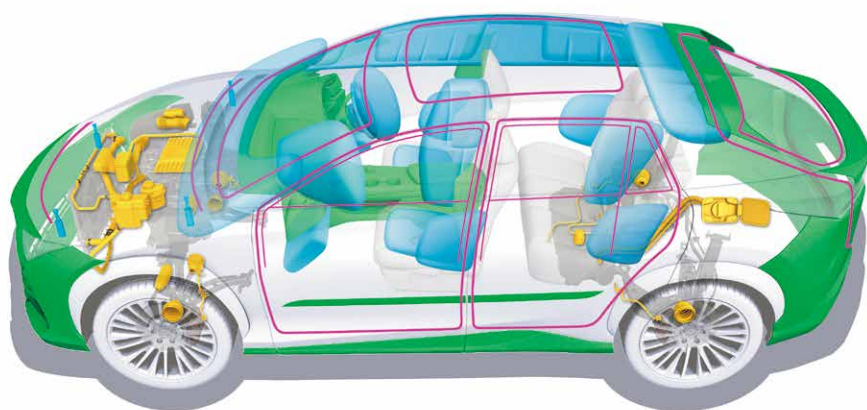
戦略性と推進スピード向上 (環境変化への感度・スピード感)

- CxO制度による戦略性の向上、意思決定スピードアップ
(戦略推進、BEVおよびリサイクルのリード組織の設立)
- 重点市場と向き合った地域自立的経営の確立
- CoE※により地域のヤル気とパワーを引き出す

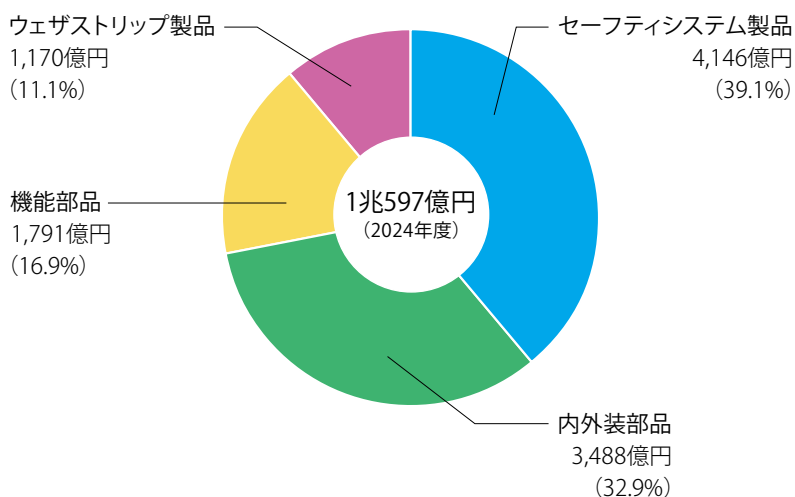
※ CoE (センターオブエクセレンス) の思想で各地域の強みをグローバルに展開
例 タイの低コスト・省エネ生産自動化技術
中国・北米のナショナル人材の育成・登用手法

ゴム・樹脂の自動車部品を開発・生産しています。

開発から生産まで一貫したモノづくり体制を整え、
安心・安全で快適なクルマづくりなどに貢献する
さまざまな製品を提供しています。



製品領域別売上収益(売上比率)



自動車部品



セーフティシステム
製品



内外装部品



機能部品



ウェザストリップ製品

その他の製品



UV-C LED製品



各種エアバッグ



ハンドル(エアバッグ内蔵)



ポップアップフードアクチュエータ



インストルメントパネル・構成部品



ラジエータグリル



コンソールボックス



樹脂フューエルフィルターパイプ



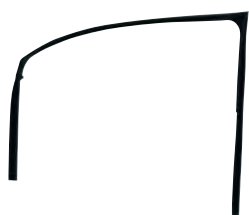
冷却配管



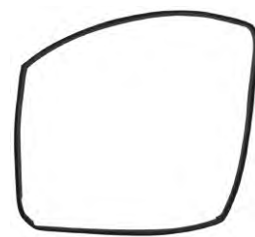
ブレーキホース



高圧水素タンク



ドアガラスラン



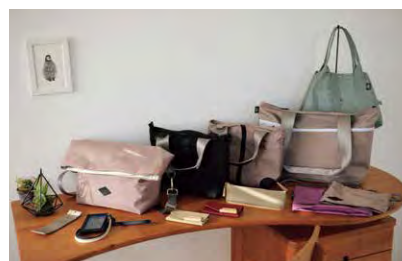
オープニングトリムウェザーストリップ



特機製品



e-Rubber製品



エシカルブランド Re-S (リーズ)

セーフティシステム製品

各種エアバッグにより、さまざまな角度の衝突から乗員を保護する360°フルカバーを実現。

また歩行者保護製品や自動運転にも対応するハンドルを提供。

これらにより交通事故死傷者の低減に貢献し、今後も移動するすべての人々に安心・安全を提供し続けていきます。



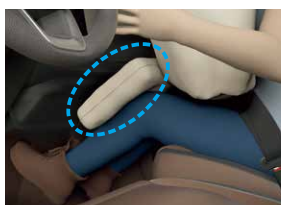
乗員保護製品 (前面衝突)



1 運転席エアバッグ

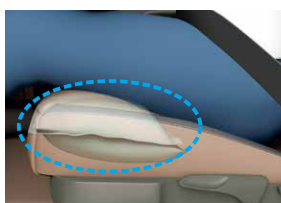
2 助手席エアバッグ

ハンドル中央部やインストルメントパネルから膨らみ、頭や胸を保護します。



3 ニーエアバッグ

インストルメントパネルの下から膨らみ、下肢を支え、乗員の前方移動を抑制し、安全な姿勢に保ちます。



4 シートクッションエアバッグ

シートの座面の中で膨らみ、大腿部を支え、乗員の前方移動を抑制し安全な姿勢に保ちます。

乗員保護製品（側面衝突）



5 カーテンエアバッグ 世界初

天井の内張りから窓枠を覆うように膨らみ、頭を保護します。



6 サイドエアバッグ

シートの背もたれから乗員とドアの間に膨らみ、胸や腹、腰を保護します。



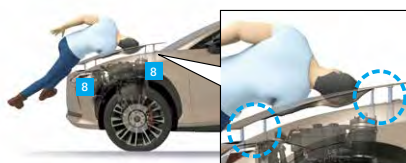
7 センターエアバッグ （ファースイドエアバッグ）

シートの背もたれから膨らみ、一人乗車の際は反対側の座席のドアや内張りとの衝突から保護し、二人乗車の際は乗員同士の衝突から保護します。

歩行者保護製品

8 ポップアップフードアクチュエータ

ボンネットを持ち上げ、エンジンルーム内の硬い部品との間に隙間を設け頭部を保護します。



9 歩行者保護エアバッグ

硬い窓枠周辺で膨らみ、歩行者の頭を保護します。



ハンドル

現行品



次世代品



ドライバー通知イルミハンドル



（イメージ）

—— ドライバー通知イルミ

—— グリップセンサ

グリップセンサや振動機能を持つハンドルを提供しています。自動運転などの普及に対応し、運転状況（自動/手動）や周囲の安全に関する状況を知覚するイルミ機能を搭載するなど、人とクルマをつなぐ新たなHMI（ヒューマン・マシン・インターフェイス）機能を付与したハンドルの開発を進めています。

ステアバイワイヤシステム*用ステアリングホイール



（イメージ）

※ハンドルとタイヤを直接つなぐことなく、電気信号でタイヤの角度を制御するシステム



LEXUS RZのF SPORTに搭載のハンドル

次世代の操舵感覚をもたらす新システムにより、Uターンや駐車の際にハンドルを大きく回転させる必要がないため、航空機の操縦桿のようなコンパクトでスタイリッシュな形状を採用しています。

内外装部品

快適で魅力的な車内空間と外観の実現に貢献します。

内装部品

インストルメントパネル・構成部品



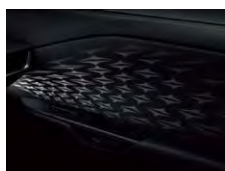
LED通知 イルミネーション

光による注意喚起機能を装飾照明に付加。安心で快適な移動空間の創出に貢献しています。



小型ワイヤレス 充電ホルダ

充電器の構造を簡素化したことで従来品と比べ60%小型化し、限られたスペースでも搭載できます。



LED陰影 イルミネーション

光の陰影を用いた模様で、夜間の車内空間を新鮮な印象に演出します。



超薄型レジスタ

一般的なレジスタに比べ製品全体の厚みを40%薄型化。独自の風向制御機構をレジスタに付与し、開口部を狭めても風力を損わず風向きを調整できます。

コンソールボックス

蓋部分は日本古来のからくり技術を用いることで、モーターなどを使わずスムーズに開閉。革・木目調パネルにより高級感を演出します。



ヒータ付きアームレスト



イルミスカッププレート

フロントピラーガーニッシュ

アシストグリップ

LED/ルームランプ

LEDランプユニット

外装部品

ラジエーターグリル

塗装やめっき、ホットスタンプなどの加飾技術と精密な成形技術により、さまざまなデザインに対応できます。



トップコートレスホットスタンプグリル



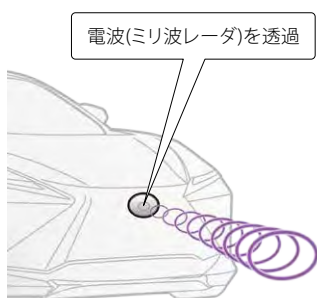
リアスポイラー



バックドア
ガーニッシュ

発光機能付きミリ波レーダ対応エンブレム 世界初

ミリ波レーダの透過機能と発光機能を併せ持つ、新たなエンブレムを開発しました。



エンブレム(発光時)

ミリ波レーダ対応エンブレム 世界初

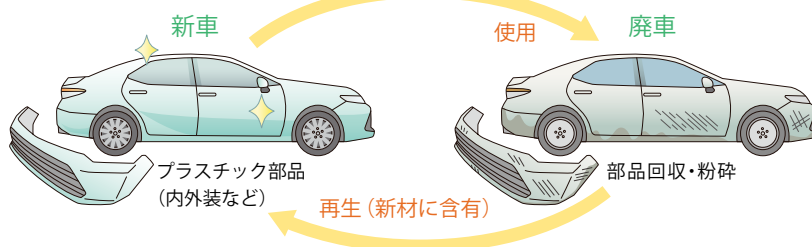


TOPICS

廃車由来プラスチックの水平リサイクル

廃車から回収したプラスチックを50%含有しても新材と同等の性能を持つ再生プラスチックを開発し、内外装部品で実用化しました。これにより、同じ部品に再利用する「水平リサイクル」を加速させ、CO₂削減に貢献しています。

〈水平リサイクルのイメージ〉



機能部品

「走る」「曲がる」「止まる」といったクルマの基本性能をサポート。
重要な保安部品として、高い品質を確保しています。

燃料タンク周辺部品



フューエルホース&チューブ



ロックナット・ポンプガスケット



カットオフバルブ



フィルリミットベントバルブ



インレットチェックバルブ



フューエルフィラーキャップ



キャップレス給油口



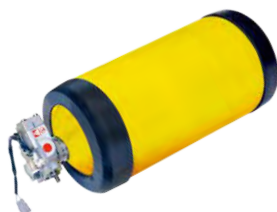
フューエルフィラーホース



樹脂フューエルフィラーパイプ 世界初

特性の異なる部分（柔軟部・剛性部・ストレート部）の一体成形により強度を確保。パイプの多層構造により樹脂の耐燃料性・耐久性を向上し、従来の金属パイプより約50%軽量化しました。

高圧水素タンク



高圧水素タンク

燃料電池自動車（FCEV）の主要部品の一つ。水素を高圧（約700気圧）に圧縮して効率的に貯蔵します。



大型高圧水素タンク

主に商用車や船舶に採用されており、乗用車用と比べて約8倍の水素の充填が可能です。

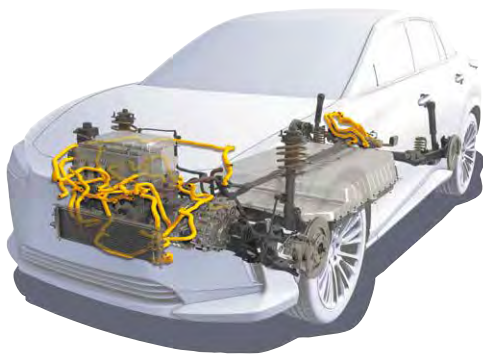


（写真提供：トヨタ自動車）

ポータブル水素カートリッジ

水素を安全かつ手軽に持ち運び、各種機器（水素調圧器や燃料電池等）に装着することで、幅広い用途での水素エネルギーの利用を可能にします。

■ バッテリー周辺部品



冷却配管



バッテリーを適正な温度に保つことで電池の長寿命化につなげるとともに、クルマの航続距離の延長にも貢献しています。



バッテリー冷却ダクト



バッテリー絶縁プレート



バッテリーケース



インバータカバー

■ エンジン周辺部品



レゾネータ付きエアクリーナホース



インタークマニホールドガスケット



シリンダヘッドカバーガスケット



エンジンカバー



ベンチレーションホース



リザーバタンク



樹脂ターボダクト



樹脂ウォータパイプ



樹脂エアパイプ



無反射吸気ダクト



ラジエータホース

■ シャシー・ドライブトレイン系部品



ブレーキホース

「止まる」に直結する重要な部品であり、500万回以上の耐久試験をクリアしています。



(樹脂)



(ゴム)

等速ジョイントブーツ



ピストンシール



コラムホールカバー



オイルポンプ



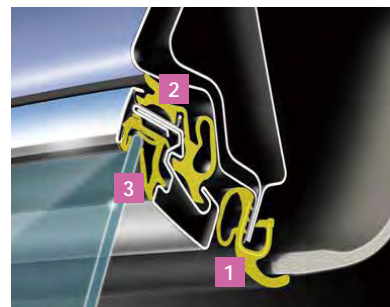
トランスミッションカバー



ピストンカップ

ウェザーストリップ製品

ドアや窓枠に装着して隙間をふさぎ、雨・風・騒音を遮断。
快適な車内空間に不可欠な製品です。



ヒドゥンドア



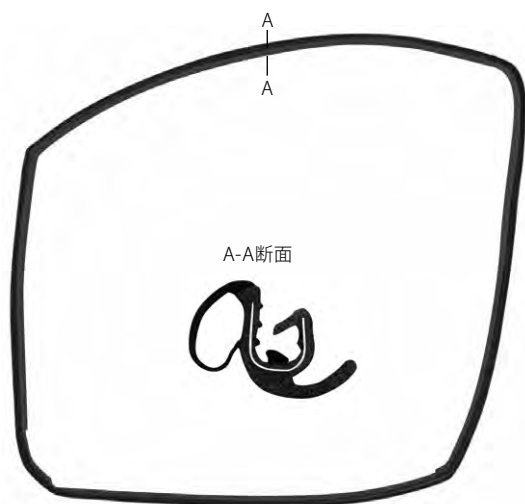
サッシュドア



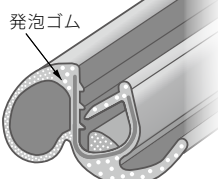
プレスドア



サッシュレスドア

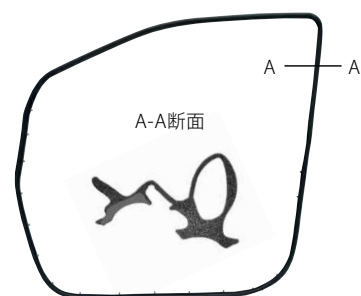


▶ A-A断面図

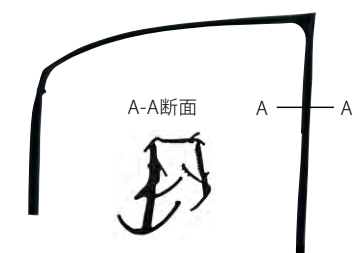


1 オープニングトリムウェザーストリップ

材料開発・生産の技術によりゴムを発泡化し、
約30%軽量化しました。

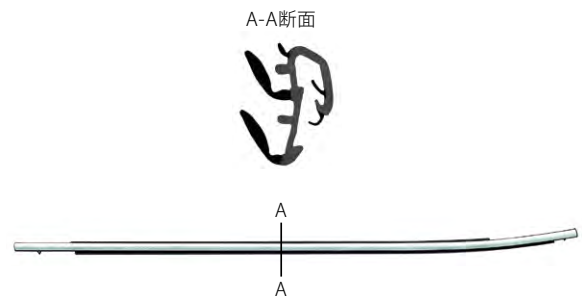


2 ドアウェザーストリップ

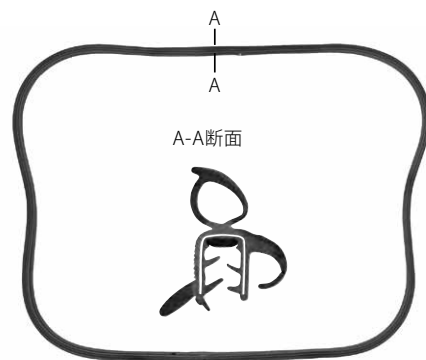


3 ドアガラスラン

ゴムと樹脂の混合材の採用や低比重化
などにより、約30%軽量化しました。



4 アウターウェザーストリップ



5 バックドアウェザーストリップ

TOPICS

より静かな車内空間づくりに貢献する ウェザーストリップの開発

さまざまな条件でウェザーストリップを組み合わせ車内の音の変化を体感できる新システムを開発。最適な部品の組み合わせを提案できます。

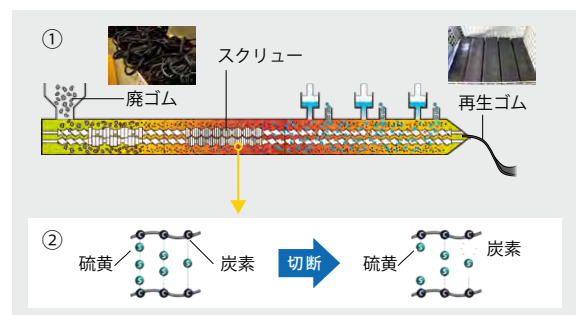
ゴムのリサイクル技術

ウェザーストリップ製品の生産時に発生する廃材を当社独自の「脱硫再生技術※」により品質の高い再生ゴムに蘇らせ、再利用する取り組みを進めています。

※ゴムに弾性などを持たせる分子結合を解いてゴムの原材料に戻すこと



車両搭載時の走行音を体感できるシミュレーションシステム



- ① 細かく粉碎した廃ゴムに、スクリーンの摩擦で熱エネルギーを加える
- ② ゴムと硫黄の結合を分子レベルで選択的に解くことで、原料ゴムの姿に戻す

UV-C LED製品

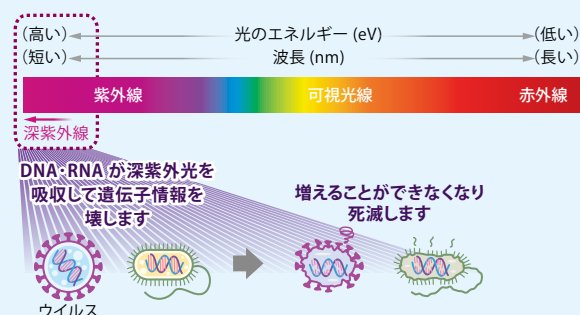
青色LEDの開発・生産で培ったノウハウや技術力を活かし、新たな付加価値を持つUV-C（深紫外線）LEDを開発・販売しています。今後は水銀ランプ代替による水銀フリーの社会に向け、UV-C LEDの性能向上を進め、水や空気などの除菌用途での利用拡大を推進します。



UV-C LED

UV-C（深紫外線）とは

UV-CとはUltra Violet Cの略で、紫外線の一種です。紫外線の中でも光の波長が短く、高いエネルギーを持ち、ウイルスや細菌の遺伝子情報を破壊し不活化します。

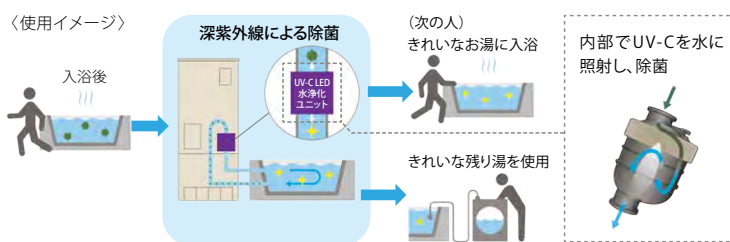


水除菌での活用

UV-C LED 小型水浄化ユニット

エコキュートに採用

「入浴後の除菌」や、「残り湯の除菌」により、安心して快適な入浴を実現します。



UV-C LED 水浄化ユニット



ポータブル手洗いスタンド「WOSH」に採用

フィルターでのろ過・吸着や塩素での消毒に加え、UV-Cを照射することで高い浄水性能を実現します。

※WOTA株式会社から販売中



特機製品

自動車部品で培ったゴム・樹脂技術を活用し、新たな分野の製品を開発・販売しています。

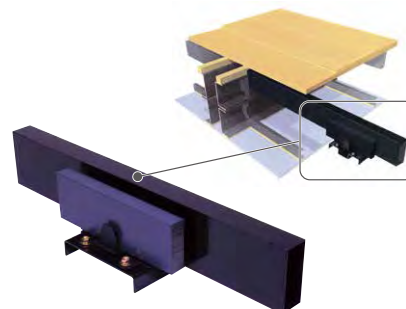


空気清浄機

機能・デザイン・カラーなど多様なバリエーションに対応しています。



農機・建機・産機の内外装部品



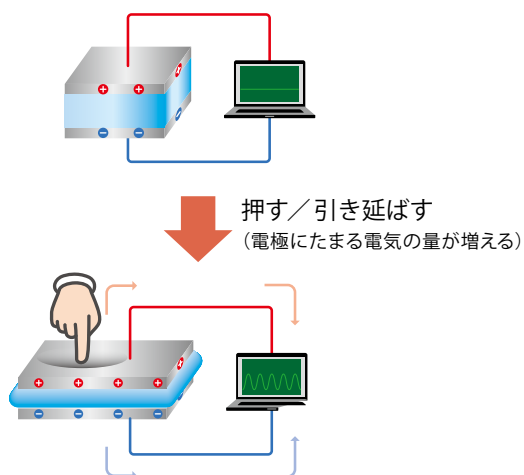
住宅用ダイナミックダンパー

制振ゴム技術を応用した、住宅の上下階での床衝撃音を抑え、静かで快適な環境をつくるための製品です。

■ e-Rubber製品

電気と力で機能する次世代ゴム「e-Rubber」を活用した製品・サービスの開発を進めています。

センサ (力 → 電気信号)

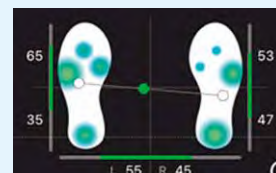


e-Rubberを活用した「スマートインソール」

「e-Rubber」を搭載したスマートインソールのゴルフ向けの活用で得た知見を基に、ヘルスケア用途での歩行解析などに活用していきます。



靴の中敷きにe-Rubberを搭載し、足圧のデータを取得



足圧を可視化し、歩行データを解析

■ エシカルブランド ^{リーズ} Re-S

自動車に搭載されるエアバッグ生地やレザーは、常に厳しい検査を通過し、製品化されます。汚れやほつれが一箇所でもあると製品として利用できなくなります。そのような素材を新たな価値あるものに生まれ変わらせたいとの思いから商品化を進め、Re-S(リーズ)というブランドとして展開しています。Re-Sに込めた想いは「Re-use」や「Re-born」の「Re」から始まり、環境に優しい活動を進めサステナビリティの「S」を高めることです。



オンライン
ショップは
こちら



- ・エアバッグ生地やシートベルトを活用したバッグ
- ・本革や小径木を活用したステーションリーグッズ



ハンドルの本革の端材を活用した
サステナブルスニーカー
(アシックス社との共同企画)

沿革

創業以来培ってきたゴム・樹脂分野における独自の技術力を活かしたモノづくりを通じて、時代のニーズに応え、世界に新しい価値を提供しています。

設立～1970年代

豊田喜一郎氏のDNAを継承し
ゴム・樹脂部品を開発

1980年代～2000年代

研究・開発に尽力し世界4極の自動車市場で生産体制を確立

1949

1960

1970

1980

1990

2000

グローバルネットワーク

1957

春日工場稼働

1967

稲沢工場稼働



1949

トヨタ自動車工業の
ゴム部門を母体に
「名古屋ゴム(株)」設立

1973

本社を現所在地(愛知県清須市)に移転
「豊田合成(株)」に改称

1976

森町工場稼働

1977

米国事務所設立
(イリノイ州)



1980

本社を現所在地(愛知県清須市)に移転
「豊田合成(株)」に改称

1982

尾西工場稼働



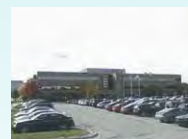
1986

TGミズーリ(株)設立



1995

北島技術センター設立



1999

豊田合成
ノースアメリカ(株)設立



2000

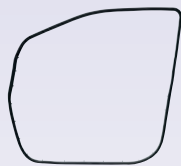
豊田合成ヨーロッパ(株)
設立



2001

豊田合成アジア(株)設立

ゴム・樹脂分野の知見



1950

ウェザーストリップ



1953

ブレーキ
ホース



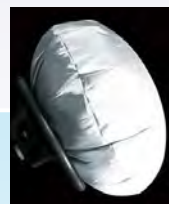
1955

樹脂射出ハンドル



1982

樹脂フューエルファイラー
キャップ



1989

運転席用
エアバッグ



1997

ゴムリサイクル技術



1998

カーテンエアバッグ

世界初



2003

ミリ波レーダ対応
エンブレム

世界初



2008

樹脂フューエルファイラー
パイプ

新規事業開発の経験



1934

源流は豊田自動織機製作所 ゴム研究部門

世界初



1991

青色LED開発の成功認定



2007

e-Rubberの研究開始

2010年代 ～ 2020年代

新興市場にも注力し、世界中にうれしさを
お届けするグローバルサプライヤーへ

2020年代 ～ 未来

安心・安全、快適、脱炭素を軸に未来へ貢献

2010

2020



2013
豊田合成東日本(株)設立



2014
豊田合成イラプアト
メキシコ(株)設立



2013
GDBRインダストリア
コメルシオ(有)設立



2018
(株)豊田合成
インドネシア設立



2020
いなべ工場稼働



2022
豊田合成東日本(株)
宮城大衡工場稼働



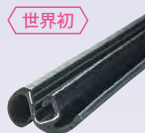
2022
一彬豊田合成(武漢)
汽车零部件(有)設立



2023
豊田合成(佛山)
自動車部品(有)
大良紅岡工場稼働



2024
豊田合成
サウスインド(株)
ハロハリ工場新設



2010
軽量オープニングトリム
ウェザーストリップ



2012
ポップアップフード
アクチュエータ



2017
大型ラジエータ
グリル



2020
高圧水素タンク



2021
歩行者保護エアバッグ



2023
冷却配管



2023
発光機能付き
ミリ波レーダ対応
エンブレム



2023
トップコートレス
ホットスタンプグリル



2024
ポータブル水素
カートリッジ
(写真提供:トヨタ自動車)



2025
超薄型レジスタ



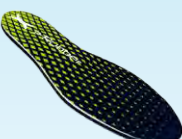
2025
ステアバイワイヤシステム用
ステアリングホイール



2025
再生プラスチックを用いた
Grabボックス



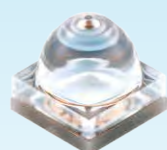
2010
GaNパワー半導体の
研究開始



2021
スマートインソール



2022
次世代パワー半導体向け
「GaN基板の大口径化」に
成功



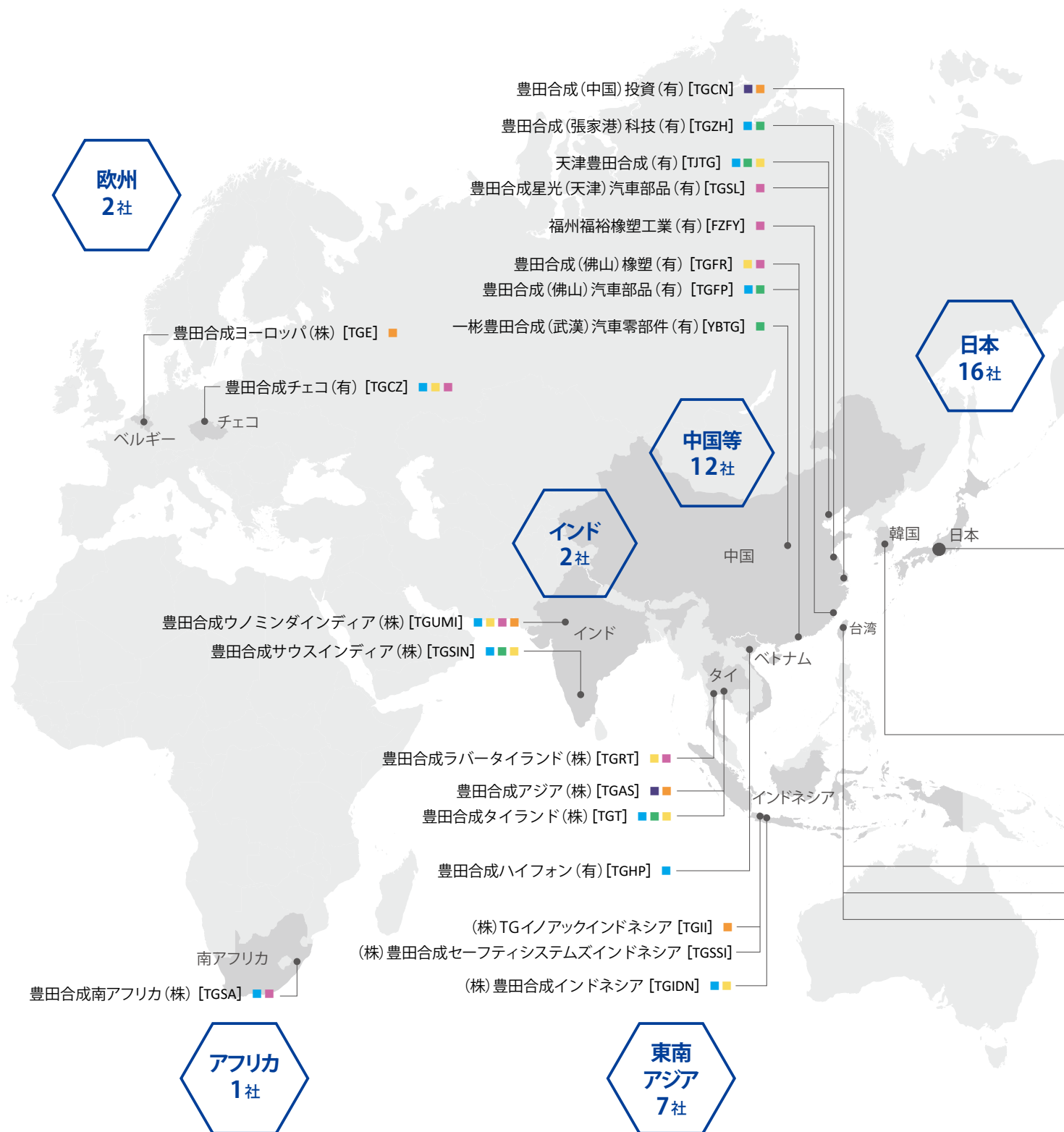
2024
UV-C LEDの高出力化

グローバルネットワーク

(2025年6月30日現在)

15ヵ国/地域の58のグループ会社*でお客様のニーズにタイムリーにお応えします。

各地域に密着した営業・技術体制とグローバルで最適な生産・納入体制を整えています。*連結対象会社





生産品目／機能

- セーフティシステム製品 □ その他の製品
- 内外装部品 ■ 統括拠点
- 機能部品 ■ 営業・技術開発拠点
- ウェザストリップ製品 [] 内は略称

- 豊田合成(株) ■■■■□■
- 一榮工業(株) ■
- 豊田合成日乃出(株) ■■
- 豊信合成(株) ■■
- 海洋ゴム(株) ■■
- TGウェルフェア(株)
- TGロジスティクス(株)
- TGメンテナンス(株)
- ティージーオペシード(株) ■
- (株) FTS ■
- TGAP(株) ■
- TGテクノ(株) ■
- (株) 中勢ゴム ■■
- 豊田合成東日本(株) ■■
- 豊田合成九州(株) ■■■■
- 芦森工業(株) ■

韓国豊田合成(株) [TGKR]

- 台裕橡膠工業(株) [TY] ■■
- 豊裕(株) [FY] ■■
- 豊晶光電(株) [TEOP] □

北米
16社

- 豊田合成テキサス(有) [TGTX] ■
- 豊田合成ブラウズビルテキサス(有) [TGBTX]
- TGミズーリ(株) [TGMO] ■■
- TGケンタッキー(有) [TGKY] ■■
- TGオートモーティブシーリングケンタッキー(有) [TGASK] ■■
- 豊田合成ノースアメリカ(株) [TGNA] ■■
- 豊田合成パーソネルサービスノースアメリカ(株) [TGPS]
- TGRテクニカルセンター(有) [TGRTC] ■
- TGフルイドシステムズUSA(株) [TGFSUS] ■
- カナダ
- TGミント(株) [TGMINTO] ■
- 豊田合成ホールディングス(株) [TGH]
- ウォータービルTG(株) [WTG] ■
- アメリカ
- メキシコ
- タペックスメキシカーナ(株) [TAPEX] ■
- 豊田合成ラバーメキシコ(株) [TGRMX] ■
- 豊田合成オートモーティブシーリングメキシコ(株) [TGASMX] ■
- 豊田合成イラプアトメキシコ(株) [TGIMX] ■■

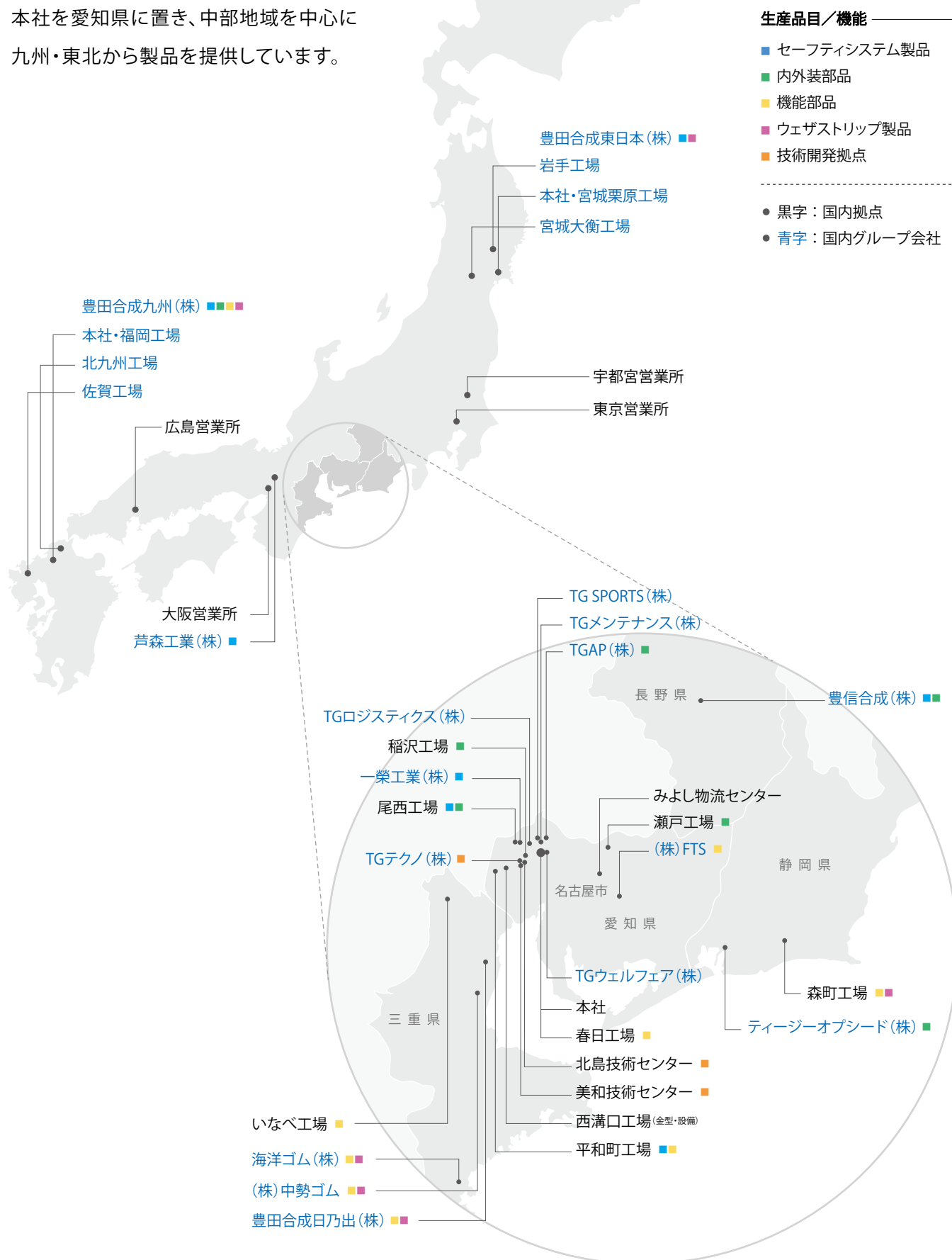
ブラジル

- GDBRインダストリアコメルシオ(有) [GDBR] ■■
- ペクバルインダストリア(有) [Pecval] ■

南米
2社

国内ネットワーク

本社を愛知県に置き、中部地域を中心に九州・東北から製品を提供しています。



会 社 デ ー タ

会社概要

会 社 名	豊田合成株式会社	設 立	1949年6月15日	資本金	281億円(2025年3月31日現在)
売上収益	1兆597億円(2024年度連結)	営業利益	598億円(2024年度連結)	R O E	6.8%(2024年度連結)
従業員数	39,192名(2025年3月31日現在)				

役員一覧 (2025年6月19日現在)



取締役会長
宮崎 直樹



取締役社長・CEO
齋藤 克巳



取締役副社長・COO・CMO
安田 洋



取締役・執行役員・CTO
苗代 光博



取締役・執行役員・CFO
蜂須賀 正義



社外取締役
松本 真由美



社外取締役
和田 節



社外取締役
古川 雅典



社外取締役
前田 茂樹



社外取締役
栗生 万琴



常勤監査役
大磯 健二



常勤監査役
藤田 佳幸



社外監査役
加古 慈



社外監査役
桑山 斉



社外監査役
横井 正彦

執行役員	小笠原 豊	山本 直	長谷川 真人	林 賢士	田中 伸恒	大谷 勝文
	Bijay Krishna Shrestha	岡田 靖	安藤 浩子	渡辺 修自	河瀬 誠	日向 博実

豊田合成株式会社

〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地

Tel:052-400-1055 Fax:052-409-7491

<https://www.toyoda-gosei.co.jp/>

2025.06. 6,000 TP Japan

